

第三者評価結果報告書(2016年度)

2016 年 11 月 30 日

株式会社千趣会チャイルドケア

小規模保育所 えがおの森保育園・かみいけだい 園長 殿

郵便番号 131-0032

所在地 東京都墨田区東向島六丁目37番4号

評価機関名 一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

認証評価機関番号

機構 03 - 091

電話番号 03-6657-4511

代表者氏名 代表理事 小池一步

印

以下のとおり第三者評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	****	福祉	H0502074
	②	****	福祉	H1001044
	③			
	④			
福祉サービス種別	小規模保育所			
調査対象事業所名称	株式会社千趣会チャイルドケア えがおの森保育園・かみいけだい			
事業所連絡先	郵便番号	145-0064		
	所在地	東京都大田区上池台1丁目20番20号		
	電話番号	03-6425-9611		
事業所代表者氏名	園長 ****			
契約日	2016 年 6 月 20 日			
利用者調査票配布日(実施日)	2016 年 10 月 3 日			
利用者調査結果報告日	2015 年 10 月 28 日			
自己評価の調査票配付日	2015 年 10 月 3 日			
自己評価結果報告日	2015 年 10 月 28 日			
訪問調査日	2015 年 11 月 7 日			
調査結果合議日	2015 年 11 月 18 日			
コメント (第三者評価の工夫点、補助者・専門家等の活用などを記入)	1. 利用者調査は、保護者17世帯に対しアンケート方式で実施し、評価機関への郵送方法により回収、10人(59%)から回答がありました。 2. 事業評価は、国の第三者評価基準ガイドライン(2016年3月改定、一部除外)を使用し、経営層及び職員に評価の目的、手順、回答シートの記入要領などを説明しました。 3. 訪問調査は、11月7日(月)に行い、延長保育、食事を含め、保育状況全般を観察しました。 4. 評価者はいずれも評価対象事業所とは事業上の関係を有せず第三者性の確保を図りました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む第三者評価結果報告書を受け取りました。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

〔利用者調査結果〕

調査対象	2016年10月現在、在籍している子どもの保護者17世帯を対象としました。		
調査方法	保育園から予め保護者に第三者評価の目的などを周知し、利用者調査票(東京都福祉サービス評価推進機構版)と評価機関作成の説明書を配布、記入後評価機関へ直接郵送してもらい、10月17日(月)に締め切りました。回答者数は10人(回答者割合59%)でした。		
利用者総数		17	
共通評価項目による調査対象者数		17	
共通評価項目による調査の有効回答者数		10	
利用者総数に対する回答者割合(%)		59.0	

利用者調査全体のコメント

回答者の総合的な感想は、「大変満足」が4人、「満足」が5人、「どちらともいえない」が1人でした。「不満」、「大変不満」はありませんでした。

質問項目に対し、「問1.提供される食事」、「問8.施設内の清掃、整理整頓」、「問9.職員の言葉遣いや態度、服装」については、回答者全員が「はい」と答えました。次いで、「問6.家庭と保育所の信頼関係」、「問12.子どもの気持ちの尊重」、「問13.子どもと保護者のプライバシー」については、「はい」が9人でした。他方、「問16.困った時に職員以外の人にも相談できる」については、「はい」と「どちらともいえない」がそれぞれ2人、「いいえ」が3人、「無回答・非該当」が1人という結果でした。

保育園に対する意見・要望には、「小さい園ですが、先生の皆さんがあたたかく子どもの成長を見守ってくれている。家庭的な雰囲気でも子どもの成長を家庭と一緒に見守ってくださり感謝しています。」と感謝し評価している記述がある一方、「就学前まで通えないので、保育園探しを続けなければならず、不安。」のほか、いくつかの希望を述べる意見が見られました。

利用者調査結果

質問項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答・非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」と答えていました。自由意見には、「毎日手作りのお食事やおやつで美味しそうです。子どもも残さず食べているようです。」「食事の摂取表の締切期限について、時間的余裕をもう少し持たせてほしい。」という記述がありました。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	8	2	0	0
回答は、「はい」が8人、「どちらともいえない」が2人でした。自由意見には、「毎日公園に行き、いろいろな遊びをしていただいています。小規模なのは承知していますが、戸外活動が少なく、イベントがほとんどない。」という記述がありました。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	0	0	3
回答は、「はい」が7人、「非該当」が3人でした。自由意見はありませんでした。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	8	2	0	0
回答は、「はい」が8人、「どちらとも言えない」が2人でした。自由意見には、「ちゃんと人手が足りているのか・・・、少し不安に思うことがあった」という記述がありました。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	7	3	0	0
回答は、「はい」が7人、「どちらとも言えない」が3人でした。自由意見には、「土曜日開催なのでありがたいです。防災訓練が平日の実施であり、厳しかった。」という記述がありました。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	9	1	0	0
回答は、「はい」が9人、「どちらとも言えない」が1人でした。自由意見には、「連絡帳に悩んでいることを記入するとすぐに適切な回答をしていただけます。子どもが不安定になったときの対応や育児相談も親身に対応してくれています。」という記述がありました。				
7. 職員は保護者の考えを聞く姿勢があるか	7	1	1	1
回答は、「はい」が9人、「どちらとも言えない」と「いいえ」、「非該当」が各1人でした。自由意見には、「個人面談を実施していただいています。ルールを重視しているように感じます。」という記述がありました。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」と答えていました。自由意見には、「毎日とてもきれいに清掃していると思います。」という記述がありました。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	10	0	0	0
回答者全員が「はい」と答えていました。自由意見には、「若い先生が多いですが、みなさんとてもしっかりとしていってらっしゃいます。」という記述がありました。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	8	2	0	0
回答は、「はい」が8人、「どちらとも言えない」が2人でした。自由意見には、「体調の異変があったときはすぐにご連絡をいただけます。」という記述がありました。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	7	1	0	2
回答は、「はい」が7人、「どちらともいえない」が1人、「非該当」が2人でした。自由意見はありませんでした。				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	9	1	0	0
回答は、「はい」が9人、「どちらともいえない」が1人でした。自由意見には、「優しくあたたかく接していただいています。」という記述がありました。				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	9	0	0	1
回答は、「はい」が9人、「非該当」が1人でした。自由意見はありませんでした。				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	8	1	1	0
回答は、「はい」が8人、「どちらともいえない」と「いいえ」が各1人でした。自由意見には、「毎月発行している園だよりでわかりやすく記載されています。」という記述がありました。				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	6	2	0	2
回答は、「はい」が6人、「どちらともいえない」と「非該当」が各2人でした。自由意見には、「先生方の中での話し合いなどもしっかりやっただいていては思いますが、活かされているか微妙なところがある。」という記述がありました。				
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	4	2	3	1
回答は、「はい」が4人、「どちらともいえない」が2人、「いいえ」が3人、「非該当」が1人でした。自由意見はありませんでした。				

〔共通評価基準結果〕

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-1(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。

I-1-1(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		評価
判断基準		
a	法人(保育所)の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、保護者等への周知が図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	法人(保育所)の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	法人(保育所)の理念、基本方針が明文化されていない。	<input type="checkbox"/>
I-1-1(1)-① 評価のコメント		
<p>運営会社(以下、「本部」という)の理念「子育て支援を通して、子どもと子育てに関わる全ての人に笑顔をお届ける」を基本に、「子どもたち一人一人の可能性を探求し、これからの生きる力を育みます、他」を保育理念としています。保育目標は、「心身ともに健やかな子ども」他とし、目指す方向を明らかにしています。保育士の基本姿勢を記した冊子「スタッフの心得&マナー」に、理念や保育目標、保育士の役割、マナーなどを記載し、全職員に配付しています。職員は、入社時にこれを基に研修を受け、日々の保育で実践しています。理念や保育目標は、事業計画やパンフレット、ホームページ、「入園のしおり」に記載し、また、入園説明会で保護者に説明しているほか、園内にも掲示し、保護者や職員がいつでも確かめることができます。</p>		

I-2 経営状況の把握

I-2-1 経営環境の変化等に適切に対応している。

I-2-1(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		評価
判断基準		
a	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	事業経営をとりまく環境と経営状況が把握されているが、分析が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	事業経営をとりまく環境と経営状況が把握されていない。	<input type="checkbox"/>
I-2-1(1)-① 評価のコメント		
<p>子ども育成協議団体に加入し、様々な事業者や子育て支援関係機関と交流や連携を図っています。会員情報や交流・連携の中から福祉および保育業界の動向を把握し、子育てニーズに関わる情報や子育て環境の多様性を捉えています。大田区保育担当課が主催する小規模保育所施設長会議や講習会などの機会を活用し、地域の保育ニーズの特徴や変化についても把握しています。また、連携施設との交流から身近な地域情報を入手しています。本部は、利用者の推移を含む利用状況を、週・月ごとに把握・分析を行っています。</p>		
I-2-1(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。		評価
判断基準		
a	経営環境と経営状況の把握・分析にもとづき経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	経営環境と経営状況の把握・分析にもとづき、取組を進めているが十分でない。	<input type="checkbox"/>
c	経営環境と経営状況の把握・分析にもとづく取組が行われていない。	<input type="checkbox"/>
I-2-1(1)-② 評価のコメント		
<p>本部が、組織体制や職員体制、人材育成、財務状況について傘下の保育園の現状を把握しています。これを基に経営状況の検討を行い、役員へ報告しています。事業の現状から黒字化に向けた目途が立ち、新たな保育事業の取り組みを検討しています。周辺地域において認知されたと捉え、今後の具体的な取り組みを計画しています。職員体制について、退職者や休職者の現状、求人状況などを把握し、課題を認識しています。速やかな課題解決が期待されています。</p>		

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		評価
判断基準		
a	経営や保育に関する、中・長期の事業計画及び中・長期の収支計画を策定している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	経営や保育に関する、中・長期の事業計画または中・長期の収支計画のどちらかを策定していない。	<input type="checkbox"/>
c	経営や保育に関する、中・長期の事業計画も中・長期の収支計画のどちらも策定していない。	<input type="checkbox"/>
I-3-(1)-① 評価のコメント		
<p>理念として掲げた「子育て支援を通じて地域社会に貢献する」の実現に向けた中・長期計画を策定しています。計画には、地域環境の現状分析のもとに待機児童解消に向けた保育園の増設という具体的な目標を設定し、数値目標や具体的な計画を挙げています。計画には、既存の各園の保育、経営・組織、研修、設備、地域支援などの課題や改善策の中長期的なビジョンや方策を示すことが必要と思われるのですが、現状は未整備と見られます。保育園の保育の内容や質を高めていく計画の策定が期待されます。</p>		
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		評価
判断基準		
a	単年度の計画は、中・長期計画を反映して具体的に策定されている。	<input type="checkbox"/>
b	単年度の計画は、中・長期計画を反映しているが、内容が十分ではない。	<input checked="" type="checkbox"/>
c	単年度の計画は、中・長期計画を反映しておらず、内容も十分ではない。	<input type="checkbox"/>
I-3-(1)-② 評価のコメント		
<p>毎年度末に、本部は、「事業報告」「資金収支計算書(決算書)」及び「保育所における自己点検・自己評価」を作成し、その内容を踏まえ、次年度の「事業計画」「事業活動計算書(予算書)」を立案しています。年度事業計画に、理念・保育目標を明文化するとともに、入所定員数、保育計画を定めています。1歳児・2歳児保育、健康、栄養管理・食育、安全、保護者・地域、環境問題を取り上げ、実行可能な内容と見られますが、年度事業計画に立てられた保育計画は、保育課程とのつながりや一貫性が見えにくい状況です。また、本部の中・長期計画とのつながりも同様と考えられます。本部の中長期的なビジョンと方策が反映された年度事業計画の策定が期待されます。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		評価
判断基準		
a	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	事業計画が職員等の参画のもとで策定されているが、実施状況の把握や評価・見直し、または、職員の理解が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	事業計画が、職員等の参画のもとで策定されていない。	<input type="checkbox"/>
I-3-(2)-① 評価のコメント		
<p>年度事業計画は、年度末に行う保育所の自己評価を踏まえ、次年度事業計画を立案しています。事業計画は、理念・保育目標を明らかにし、職員会議で確認しています。会計関係の予算は、本部が策定し、月次に実績を把握しています。一方、毎月の職員会議では、一人一人の子どもの様子や変化の状況を確認し、職員間で共有を図っています。会議では、子どもの安全、健康や栄養管理などについて意見や提案が出され、話し合っています。参加できなかった職員には、会議録を回覧し共有を図っています。</p>		

I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。		
a	事業計画を保護者等に周知するとともに、内容の理解を促すための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	事業計画を保護者等に周知しているが、内容の理解を促すための取組が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	事業計画を保護者等に周知していない。	<input type="checkbox"/>
I-3-(2)-② 評価のコメント		
事業計画の内容は、保護者に対し入園説明会や保護者会、面談等で説明しています。玄関入口に、「運営規定」、「事業計画」、「事業報告」、「保育園の自己評価・自己点検」、「財務情報の公表」(ファイル)を開示し、保護者がいつでも見ることができます。「園だより」や「入園のしおり」には、事業計画に基づく保育の実施内容を記載しています。保護者との個人面談や保護者会、給食試食会において、年間行事や各クラスの活動・様子など事業計画の具体的な活動を説明しています。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		
判断基準		評価
a	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われているが、十分に機能していない。	<input type="checkbox"/>
c	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われていない。	<input type="checkbox"/>
I-4-(1)-① 評価のコメント		
養護や教育、行事などの保育内容について、計画P、実施D、点検・評価C、見直しAのサイクルで保育の質の向上に取り組んでいます。保育課程に基づいて、年間指導計画をはじめ、月間指導計画、週案を作成しています。期・月・週などの期間経過後、評価・見直しを行い、次期計画に反映しています。年度末に自己評価を行い良い点や改善点を把握しています。第三者評価は、本年度初めて実施します。評価結果は、職員会議で確認するとともに、本部でも分析・検討を予定しています。		
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		
判断基準		評価
a	評価結果を分析し、明確になった保育所として取組むべき課題について、改善策や改善実施計画を立て実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	評価結果を分析し、保育所として取組むべき課題を明確にしているが、改善策や改善実施計画を立て実施するまでには至っていない。	<input type="checkbox"/>
c	評価結果を分析し、保育所として取組むべき課題を明確にしていない。	<input type="checkbox"/>
I-4-(1)-② 評価のコメント		
保育所の自己評価の結果を踏まえ、取り組む課題を職員会議で具体的に検討し、次年度の事業計画に反映します。保育の指導計画について、「保育・個別日誌」や「発達経過記録」に各月の評価結果をまとめ、一人一人の課題を挙げています。苦情・相談の内容、事故やけが、ヒヤリハットなどをまとめ、職員会議や本部で組織的に取り組むべき課題や改善策を検討し、職員間で共有するとともに、具体的に取り組んでいます。また、保護者アンケートや運営委員会の意見を検討し、保育園と家庭の養育・教育の連携に向けて必要に応じ見直しを行っています。		

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-1(1) 管理者の責任が明確にされている。

II-1-1(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。

判断基準		評価
a	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>
b	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう取り組んでいるが、十分ではない。	<input checked="" type="checkbox"/>
c	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしていない。	<input type="checkbox"/>

II-1-1(1)-① 評価のコメント

「管理規定」に、「園長は本保育所の実務を統括すると共に、本保育所の運営方針を遂行する」と定めています。園長は、管理規定に基づき自らの役割と責任を認識しています。会議や入園説明会などで自らの立場を表明し、業務を実施してきました。不在が続いた時は、本部の支援と職員の努力によって業務が滞らないよう努めています。職務分担表には、園長や保育士、栄養士などの役割を明らかにし、会議や研修において周知しています。災害や事故の際、園長不在の時は、リーダーまたは本部職員が代行するとしています。

II-1-1(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。

判断基準		評価
a	施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組は行っていない。	<input type="checkbox"/>

評価のコメント

園長は、保育所保育指針、関係法令などを理解し、関係機関とも関係を築いています。本部の施設長会や区の施設管理者研修に参加し、法令順守の理解を深めています。本部は、就業規則や「コンプライアンスに関する規定」を定め、担当職員を配置しています。職員会議で法令などに基づく各種規定類やマニュアルなどの読み合わせを行い、法令順守の徹底を図っています。日常の勤務の心得や業務上のルールを「スタッフ心得 & マナー」にまとめ、職員は常に携帯し、実践に努めています。

II-1-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

II-1-1(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。

判断基準		評価
a	施設長は、保育の質の向上に意欲をもち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	<input type="checkbox"/>
b	施設長は、保育の質の向上に意欲をもち、組織としての取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。	<input checked="" type="checkbox"/>
c	施設長は、保育の質の向上に関する組織の取組について指導力を発揮していない。	<input type="checkbox"/>

II-1-1(2)-① 評価のコメント

1・2歳児を対象とする「小規模保育所」は、職員や子どもの数が少ない、保育期間が短いなど通常の認可保育所とは異なる特徴を持っています。リーダーや本部は、報告・連絡・相談を密に行い、少人数の職員体制で効率の良い運営に努めています。指導計画や行事計画などの課題を把握し、子どもの成長に合った基本的な生活習慣の習得や生活のリズム、遊びの工夫など保育の内容と質を確保するため、具体的な方策を立てて指導を行っています。職員と個別面談を行い、保育技術を高める研修を勧めたり、意見や提案を聞き具体的な保育に取り入れています。

Ⅱ—1—(2)—② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		
判断基準		評価
a	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組に十分な指導力を発揮している。	<input type="checkbox"/>
b	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。	<input checked="" type="checkbox"/>
c	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組について指導力を発揮していない。	<input type="checkbox"/>
Ⅱ—1—(2)—② 評価のコメント		
<p>リーダーや本部職員は、職員の勤務状況や保育経歴を把握し、早急な解決が求められる課題を共有しています。こうした把握した課題について、長時間残業の廃止や職員の定着など職場の環境整備、具体的な保育指導や支援に取り組んでいます。現状では、職員の定着や補充が厳しい状況にあると見られます。新たな園長の配置が予定されていることから、本部との連携を強化する一方、園内のリーダーや職員との一致協力によって、運営業務の実効性や保育の充実を目指した取り組みが進むことが期待されます。保護者の不安の解消が待たれます。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

Ⅱ-2-1(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

Ⅱ-2-1(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。

判断基準		評価
a	保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しており、それにもとづいた取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しているが、それにもとづいた取組が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立していない。	<input type="checkbox"/>

Ⅱ-2-1(1)-① 評価のコメント

「管理規定」に、専門職名や定数、子どもの定員数など人員体制に関する基準を定めています。本部との連携により必要な専門職や人員体制に関する具体的な計画を立て、毎週確認し、定数以上を保持するよう配置しています。本部は、長期的な視点で採用活動を行い、人材の確保や職員の育成に当たっています。入社後研修を行い、OJT(仕事を通じた教育)を実施しながら、新人職員の不安やストレスの軽減や解消に配慮しています。現状、定数以上の人員が確保されていますが、ゆとりがある体制には至っていないと見られます。人材の採用と定着へのさらなる取り組みが求められています。

Ⅱ-2-1(1)-② 総合的な人事管理が行われている。

判断基準		評価
a	総合的な人事管理を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	総合的な人事管理に関する取組が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	総合的な人事管理を実施していない。	<input type="checkbox"/>

Ⅱ-2-1(1)-② 評価のコメント

総合的な人事管理制度を設けています。「期待する職員像」として保育理念を実現する人を求めています。資格制度(見習い・一人前～ベテラン・マネジメント補佐・マネジメント)を導入し、職務内容を明確にするとともに、担う職務に応じて資格を決定します。報酬制度に、給与体系、給与水準、各種手当、昇給の仕組みを明確にしています。評価制度には、目標達成度評価・能力評価や評価項目のほか、年間運用スケジュールを定めています。人事考課表を用いて職員と年2回面談し、その意向や評価の確認を行い、人事管理や人材育成に生かしています。毎年度財政状況が確定した段階で職員に説明し、昇給・賞与額を開示するとともに、次年度の見通しを説明しています。

Ⅱ-2-1(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

Ⅱ-2-1(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

判断基準		評価
a	職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みが構築され、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みの構築が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	職員の就業状況や意向を把握する仕組みがない。	<input type="checkbox"/>

Ⅱ-2-1(2)-① 評価のコメント

労務管理に関する責任は、園長と本部の運営管理部長が受け持っています。職員の就業状況は、園長による日々の確認と本部による週次・月次の確認で把握しています。健康診断を定期的実施し、感染症対応の予防接種、相談や面談による心身の健康維持に取り組んでいます。夏期休暇制度の実施や勤続報奨金制度の検討、妊娠・育児休暇制度に関わる環境整備などワーク・ライフ・バランスに配慮しています。園長や本部職員による職員との個人面談を実施し、メンタルやモチベーション(意欲、動機づけ)など職員の心身状態を確認し、働きやすい職場づくりに努めています。

Ⅱ—2—(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

Ⅱ—2—(3)—① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

判断基準		評価
a	職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が、適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が行われているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が行われていない。	<input type="checkbox"/>

Ⅱ—2—(3)—① 評価のコメント

人事制度に「期待する職員像」を定め、目標管理制度を確立しています。各職種の職務遂行能力や姿勢・態度など各項目に沿った「評価シート」(考課表)を定め、自己評価及び上司の評価を実施しています。毎年度末に上司が面談し、心身状態をはじめ、家庭状況、困っていること、将来への希望、要望について話し合い、コミュニケーションを図っています。中間と期末に考課表に基づいて自己評価と面談を行い、職員一人一人の目標達成状況や課題を把握し、次年度の目標を確認しています。

Ⅱ—2—(3)—② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

判断基準		評価
a	保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されているが、内容や教育・研修の実施が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されていない。	<input type="checkbox"/>

Ⅱ—2—(3)—② 評価のコメント

本部が「教育・人材育成計画」を策定しています。20代から60代まで各年代や階層・役割に応じた年代別・階層別研修を計画しています。テーマ別研修には、保育専門教育、危機管理、姉妹園視察・実習、救急救命などのコースがあります。自己啓発支援は、外部研修の受講支援です。本部の合同研修で、ビジネススキルや保育園の仕組みなどを学んだり、外部研修で、危機管理やアレルギー、けが等を学んだりしています。入社時、新入職員にOJT研修を実施しています。また、園長やリーダーが保育業務を担当するためのトレーニングを行っています。フィードバック面談により研修の評価と見直しを行っています。

Ⅱ—2—(3)—③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。

a	職員一人ひとりについて、教育・研修の機会が確保され、適切に教育・研修が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	職員一人ひとりについて、教育・研修の機会が確保されているが、参加等が十分でない。	<input type="checkbox"/>
c	職員一人ひとりについて、研修機会が確保されていない。	<input type="checkbox"/>

Ⅱ—2—(3)—③ 評価のコメント

人事制度に「期待する職員像」を定め、目標管理制度を確立しています。各職種の職務遂行能力や姿勢・態度など各項目に沿った「評価シート」(考課表)を定め、自己評価及び上司の評価を実施しています。毎年度末に上司が面談し、心身状態をはじめ、家庭状況、困っていること、将来への希望、要望について話し合い、コミュニケーションを図っています。中間と期末に考課表に基づいて自己評価と面談を行い、職員一人一人の目標達成状況や課題を把握し、次年度の目標を確認しています。

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 ※特定のサービスは任意

判断基準		評価
a	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等、積極的な取組を実施している。	<input type="checkbox"/>
b	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備してはいるが、効果的な育成プログラムが用意されていないなど、積極的な取組には至っていない。	<input type="checkbox"/>
c	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備しておらず、教育・研修が行われていない。	<input type="checkbox"/>
II-2-(4)-① 評価のコメント		
非該当		

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。

判断基準		評価
a	保育所の事業や財務等に関する情報について、適切に公開している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保育所の事業や財務等に関する情報を公表しているが、方法や内容が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	保育所の事業や財務等に関する情報を公表していない。	<input type="checkbox"/>

II-3-(1)-① 評価のコメント

ホームページやパンフレット、「入園のしおり」などで本部と保育園の理念や保育目標、活動を紹介しています。事業計画や事業報告、予算・決算に関する情報は閲覧ファイルに綴じ、玄関に設置し自由に手に取ることができます。苦情・相談の体制について、重要事項説明書に記載し、また、玄関に掲示しています。受け付けは、面接や文書、電話などで行うとしています。玄関に、意見箱を設置しています。苦情や相談への対応や改善について報告書を作成し、運営委員会や「園たより」を通して公表しています。本部の理念や概要、保育の考え方、保育園の概要は、ホームページで発信しています。

II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。

判断基準		評価
a	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	公正かつ透明性の高い適正な運営・経営のための取組が行われていない。	<input type="checkbox"/>

II-3-(1)-② 評価のコメント

事務、経理、取引などに関する規定は本部で明確にしています。「職務分担表」に、保育園の事務、財務、経理に関する職務は園長が担うと定めています。本部は、親企業の専門部署と連携して、管理・運営を行っています。親企業は、内部監査を実施し、定期的に確認を行っています。必要に応じ外部の公認会計士に相談し助言を受ける体制も整備しています。

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

Ⅱ-4-1(1) 地域との関係が適切に確保されている。

Ⅱ-4-1(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。

判断基準		評価
a	子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを積極的に行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っていない。	<input type="checkbox"/>

Ⅱ-4-1(1)-① 評価のコメント

年度事業計画・事業報告に、地域との関わりについての考え方、取り組みを記載しています。「小規模保育所施設長会議」や地域保育連携事業を通して、地域の社会資源に関する情報を入手しています。地域保育連携事業による連携保育所の夏祭りや園庭開放に参加し、地域の人々や子どもたちと交流を図っています。天気の良い日は毎日散歩し、商店会や行き交う近隣の人々に挨拶を交わしています。散歩マップや公園情報を、玄関に掲示し、保護者の理解と利用を案内しています。

Ⅱ-4-1(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。※特定のサービスは任意

判断基準		評価
a	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢が明示されており、受入れについての体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
b	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢は明示されているが、受入れについての体制が十分に整備されていない。	<input type="checkbox"/>
c	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢が明示されていない。	<input type="checkbox"/>

Ⅱ-4-1(1)-② 評価のコメント

非該当

Ⅱ-4-1(2) 関係機関との連携が確保されている。

Ⅱ-4-1(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。

判断基準		評価
a	子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握し、その関係機関等との連携が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握しているが、その関係機関等との連携が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示していない。	<input type="checkbox"/>

Ⅱ-4-1(2)-① 評価のコメント

地域の社会資源について、重要事項説明書に警察署や消防署、大田区担当課の所在地や電話番号を記載し、保護者に伝えています。園長は、大田区の「小規模保育所施設長会」に定期的に参加し、感染症情報や巡回指導等の情報を入手し、職員会議で報告するとともに、保育に取り入れています。地域保育連携事業に参加し、連携保育所の行事参加や職員研修を通して交流しています。「緊急対応マニュアル」や「虐待マニュアル」を作成し、研修を実施し、関係機関と連携が取れる体制を整備しています。

Ⅱ—4—(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

Ⅱ—4—(3)—① 保育所が有する機能を地域に還元している。※特定のサービスは任意		
判断基準		
a	保育所が有する機能を、地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	<input type="checkbox"/>
b	保育所が有する機能を、地域に開放・提供する取組を行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	保育所が有する機能を、地域に開放・提供する取組を行っていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅱ—4—(3)—① 評価のコメント		
非該当		
Ⅱ—4—(3)—② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。※特定のサービスは任意		
判断基準		評価
a	地域の具体的な福祉ニーズを把握し、これにもとづく公益的な事業・活動を積極的に行っている。	<input type="checkbox"/>
b	地域の具体的な福祉ニーズを把握しているが、これにもとづく公益的な事業・活動が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を行っていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅱ—4—(3)—② 評価のコメント		
非該当		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-1 (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

判断基準		評価
a	子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明示され、組織内で共通の理解をもつための取組が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どもを尊重した保育についての基本姿勢は明示されているが、組織内で共通の理解をもつための取組は行っていない。	<input type="checkbox"/>
c	子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明示されていない。	<input type="checkbox"/>

Ⅲ-1-1(1)-① 評価のコメント

本部は、職員に対し、子どもを尊重する保育の基本姿勢や保育士の役割を明記した「えがおの森保育園スタッフのマナー」、「育児の手順」を入社時に配付しています。職務については、毎月、配属先の職員会議で読み合わせ、共通理解と意識向上を図る取り組みを行っています。主に新人対象の社内・外研修を勤務状況を勘案しながら予定を立てて受講しています。受講した職員は研修報告書を作成し、朝や午睡時間に報告し、職員間の共通理解を図っています。保護者には、「入園のしおり」に明示したり、また、「えがおの森だより～号外～」(2016年10月発行)を配付するなど理解が深まるよう努めています。

Ⅲ-1-1(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。

判断基準		評価
a	子どものプライバシー保護等の権利擁護に関する規程・マニュアル等を整備し、子どものプライバシーと権利擁護に配慮した保育が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どものプライバシー保護等の権利擁護に関する規程・マニュアル等を整備しているが、子どものプライバシーと権利擁護に配慮した保育が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子どものプライバシー保護等の権利擁護に関する規程・マニュアル等を整備していない。	<input type="checkbox"/>

Ⅲ-1-1(1)-② 評価のコメント

子どもや保護者のプライバシーを守ることに、職員は入社時に「社員就業規定」、「社員の心得・順守規定」の読み合わせを行い、配属後は、毎年自己評価を行い、本部職員や園長による個人面接や人事考課時に理解を確認しています。保育の場においては、トイレでの指導をはじめ、おむつ交換時のドアの設置、随時場面によって室内を区切るパーテーション(間仕切り)を配置するなど配慮しています。保護者には、苦情解決の仕組みについて、入園時に手渡す重要事項説明書の記載のほか、玄関の掲示などによって周知・理解を求めるとともに、不適切な事案が発生した時は丁寧に対応しています。

Ⅲ-1-1(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。

判断基準		評価
a	利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を積極的に提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を提供しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を提供していない。	<input type="checkbox"/>

Ⅲ-1-1(2)-① 評価のコメント

利用希望者などが保育園を選ぶための情報提供として、大田区担当課などに本部作成のパンフレットを常置しているほか、本部のホームページを開設し、それぞれ希望者などが知りたい情報を分かりやすく掲載し、随時見直しを行っています。毎年9月、次年度4月利用の申し込みが始まるころから、保育園や見学希望の問い合わせがあります。毎週1回希望者の都合に合わせた曜日を決め、園長(不在時は本部職員)が園内見学とパンフレットに沿って説明を行っています。10月末ころからは1日平均3組の見学者があり、午前中30分位かけて丁寧に対応しています。今年度入園した2人の保護者は事前に見学をしていました。

Ⅲ—1—(2)—② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。		
判断基準		評価
a	保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等にわかりやすく説明を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等に説明を行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等に説明を行っていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—1—(2)—② 評価のコメント		
<p>入園前の3月に、児童票など保護者が記載し提出する必要がある書類について、説明、理解、承諾を得る機会を設けています。園長と担任保育士が担当し、食物アレルギーなどの対応が必要な場合は栄養士が同席します。保育契約書に沿って、契約期間や保育時間、保育料金、契約の変更など重要な項目を保護者に確認してもらった上で契約書を取り交わし、保育園の基本事項や職員体制、保育計画、緊急時の対応、苦情・相談体制などを明示した重要事項説明書を提示しています。特に配慮が必要な保護者には、例えば契約書類などの漢字にひらがなをつけた事例があります。現状、個別対応にとどまり、手順を定めていません。今後の課題として、検討が期待されます。</p>		
Ⅲ—1—(2)—③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。		
判断基準		評価
a	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮している。	<input type="checkbox"/>
b	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮しているが、十分ではない。	<input checked="" type="checkbox"/>
c	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮していない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—1—(2)—③ 評価のコメント		
<p>保育園は1・2歳児の小規模保育所で、保護者は3歳以後も保育園を継続して利用する希望を持っていると思われます。「大田区小規模保育所実施要綱」には、3歳児以降の利用調整を優先的に取り扱うことが明示されていますが、具体的な仕組みや対応が未整備と見られます。保育園は、相談のあった保護者に対し、近隣の保育園などの役立つ情報を把握し伝えるようにしています。今後、保育園の継続利用について、連携保育所や区の担当課との連携の強化を含め保護者への支援体制の強化を目的とした具体的な対応策を整備することが期待されます。</p>		
Ⅲ—1—(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ—1—(3)—① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		
判断基準		評価
a	利用者満足を把握する仕組みを整備し、利用者満足の結果を踏まえて、その向上に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	利用者満足を把握する仕組みを整備し、利用者満足の結果を把握しているが、その向上に向けた取組が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	利用者満足を把握するための仕組みが整備されていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—1—(3)—① 評価のコメント		
<p>職員は、日々一人一人の子どもの発達過程、表情、かたことで発する言葉からその時の気持ちや感情を受け止めています。朝の自由遊びの場面で、「どうぞ、ありがとう、かわいいね～、おともだちいたいたい～」などの言葉かけを意図的に表情豊かに行っている様子を観察しました。毎月の職員会議で、子どもの状態を把握し、適切な対応を話し合っています。本年9月に実施した引き渡し訓練のアンケート調査の結果、保護者から時間帯を遅くしてほしいとの意見があり、来年度の改善課題としています。保護者との個人面談(年2回、5・12月)や給食試食会を兼ねた保護者会(6月)は、保護者の意向や満足度を把握する機会とし、記録を残し、保育内容の改善や向上に向けた取り組みに生かしています。</p>		

Ⅲ—1—(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

Ⅲ—1—(4)—① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

判断基準		評価
a	苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているとともに、苦情解決の仕組みが機能している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているが、十分に機能していない。	<input type="checkbox"/>
c	苦情解決の仕組みが確立していない。	<input type="checkbox"/>

Ⅲ—1—(4)—① 評価のコメント

苦情解決の仕組みを設け、入園時に重要事項説明書や入園のしおりで説明し交付しています。玄関に、仕組みのフロー図を掲示し、また、タイムレコーダー脇に「意見箱」を設置するなど保護者が苦情を申し出しやすいよう配慮しています。開設以来3年目を迎え、これまでに数件の苦情が園長や区の窓口に寄せられました。その都度苦情内容を記録し、本部とともに適切に対応しています。職員の不適切な対応に対する苦情には、職員への個別指導を含め、職員会議での再発防止の検討及び実施、園長の継続指導など保育の改善と向上に向けて取り組んでいます。申し出た保護者には、対応結果を報告しています。今後、公表について、検討が期待されます。

Ⅲ—1—(4)—② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。

判断基準		評価
a	保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備され、そのことを保護者に伝えるための取組が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備されているが、そのことを保護者に伝えるための取組が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	保護者が相談したり意見を述べたい時に、方法や相手を選択できない。	<input type="checkbox"/>

Ⅲ—1—(4)—② 評価のコメント

保育理念の一つに「家庭との連携を密にした保育」を掲げています。1・2歳児ということから、保護者の殆どが初めての子育てと見られ、子どもの基本的な生活習慣や食事のとり方など日常の様々な事柄の相談事や仕事との両立などの課題と抱えていると思われます。毎日、保育園と保護者が子どもの様子を報告し合う連絡帳は、食事や遊び、健康状態、人や家族との交流の様子など子どもが日々成長する姿そのままの貴重な記録になっています。登園時付き添ってきた2歳児の父親が、トイレへの上手な誘導の仕方を相談していました。職員は即座に子どもの気に入った玩具を置くなどの工夫を伝えていました。こうした連絡帳のやり取りや登降園時のジャストミートな相談が有効に機能しています。

Ⅲ—1—(4)—③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

a	保護者からの相談や意見を積極的に把握し、組織的かつ迅速に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保護者からの相談や意見を把握しているが、組織的かつ迅速に対応していない。	<input type="checkbox"/>
c	保護者からの相談や意見の把握、対応が十分ではない。	<input type="checkbox"/>

Ⅲ—1—(4)—③ 評価のコメント

保護者から苦情以外の意見や提案などが少なく、個人面談や保護者会、登降園時での職員対応、連絡帳への記述などで相談しやすい雰囲気づくりを心がけています。本年度から年2回の運営委員会を設置しました。本部職員、園長、第三者委員(他の保育園園長)と保護者代表1名が集り、10月に開催しました。運営状況や子どもの様子、取り組み方などを報告し、保護者から代表としての意見を聞き取っています。保育で子どもたちに読み聞かせている絵本の紹介をして欲しいとの希望があり、早速11月の園だよりに反映しました。こうした具体的かつ組織的な取り組みの積み重ねによって、マニュアルなどの見直しを含め、今後さらなる保育の質向上につながっていくことが期待されます。

Ⅲ—1—(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

Ⅲ—1—(5)—① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		評価
判断基準		
a	リスクマネジメント体制を構築し、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集と要因分析と対応策の検討・実施が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	リスクマネジメント体制を構築しているが、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集や要因分析と対応策の検討・実施が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	リスクマネジメント体制が構築されておらず、子どもの安心と安全を脅かす事例を組織として収集していない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—1—(5)—① 評価のコメント		
<p>「安心・安全な保育」を保育理念の一つに掲げています。本部が主体に、事故防止や安全対策の仕組みづくりやマニュアルを作成し、「事故報告書」、「けが報告書」、「ヒヤリハット」について4月の職員会議で周知していました。保育室は床材をクッションフロアとし、棚や椅子は角の丸い物を使用し、また、公園で遊ぶ時は危険個所の事前チェックなど、子どもがけがをしないようきめ細かく配慮しています。子どもの発達段階の特徴として歩行時に転んでけがをすることが多いことに留意し、散歩時は一人一人の発達の様子を見極め、歩く距離や職員が手をつなぐなど細心の注意を払っています。区が発行した「緊急対応マニュアル」には、地震・火災、盗難・空き巣、近隣での事故発生などの対応策が記述され、これを職員全員が所持しています。保育室全体に防災管理システムを設置しています。</p>		
Ⅲ—1—(5)—② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		評価
判断基準		
a	感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備し、取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備しているが、取組が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	感染症の予防策が講じられていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—1—(5)—② 評価のコメント		
<p>感染症対策について、4月の職員会議で具体的な対応方法を話し合っていました。子どもを近づけない、換気、殺菌消毒液(次亜塩素酸ナトリウム溶液0.1%)の使用、嘔吐物処理セットの常備などきめ細かく検討し実施しています。保育室の温度・湿度管理、風通し、濡れタオルを下げておく、手洗いの励行など室内環境にも目を配り、感染症予防に取り組んでいます。年間保健計画を4期に分け、季節ごとに目標・活動内容・配慮事項・家庭との連携などを明記し、具体的な取り組みにつなげています。感染症発生時、太田区が作成したフォーマットを使い、病名・クラス・人数などを掲示し、保護者に周知します。インフルエンザやノロウイルスなどについては、所管の保健所へ連絡、連携して対応します。</p>		
Ⅲ—1—(5)—③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		評価
判断基準		
a	地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—1—(5)—③ 評価のコメント		
<p>毎月、避難訓練を地震と火災を想定して実施、体制や手順を確認しています。保護者には、「重要事項説明書」や「入園のしおり」によって周知し、また、保護者参加の引き取り訓練も実施しています。立地上、5階建て建物の1階にありますが、津波の心配はないと見られ、所有主との間で万一の場合の協力を取り決めていません。災害発生時に備え、メール自動配信システムを導入しています。園長の携帯電話又はパソコンから発信できるシステムで、開園時と大雪の日に実際に配信し実用性を確認しました。所轄の消防署や警察署、太田区との協力体制のほか、自治会と連携をとり話し合っています。飲料水とパンを3日分備蓄しています。</p>		

Ⅲ—2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ—2—(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

Ⅲ—2—(1)—① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。		評価
判断基準		
a	保育について、標準的な実施方法が文書化され、それにもとづいた保育が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保育について、標準的な実施方法が文書化されているが、それにもとづいた保育の実施が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	保育について、標準的な実施方法が文書化されていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—2—(1)—① 評価のコメント		
<p>「スタッフ心得&マナー」、「育児の手順」などの業務マニュアルに、標準的な保育の実施方法を具体的に記載しています。理念や保育目標に、子どもの尊重や権利擁護、安心安全な保育、健康な心と体を養う保育などの基本姿勢を明らかにしています。本部の教育・人材育成制度に基づく入社時や着任後のOJTなどによる個別指導や職員会議で読み合わせを行い、業務の標準的な実施方法の周知徹底を図っています。保育園の自己評価及び各職種別の「評価シート」(考課表)を利用し、自己評価と上司による評価を行い、実施状況を確認しています。</p>		
Ⅲ—2—(1)—② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		評価
判断基準		
a	標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、仕組みのもとに検証・見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定めているが、検証・見直しが十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	標準的な実施方法について、組織的な検証・見直しの仕組みを定めず、定期的な検証をしていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—2—(1)—② 評価のコメント		
<p>各種マニュアルに基づく標準的な実施方法について、ミーティングや職員会議で確認し、書式などの見直しを行いました。大田区保育担当課や連携保育所の巡回指導の機会に標準的な実施方法の見直しを行い、必要に応じ改定しています。感染症や防災訓練など毎年流行期などの前に、関連するマニュアルや防災訓練計画の見直しを行っています。運営委員会における保護者の提案や第三者委員の意見も取り入れています。</p>		

Ⅲ—2—(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

Ⅲ—2—(2)—① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。		評価
判断基準		
a	アセスメントにもとづく指導計画を策定するための体制が確立しており、取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	アセスメントにもとづく指導計画を策定するための体制が確立しているが、取組が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	アセスメントにもとづく指導計画を策定するための体制が確立していない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—2—(2)—① 評価のコメント		
<p>入園前の面談の際、保護者が記載した児童票、緊急連絡カード、児童健康票、生活状況票、就労証明書、食材摂取確認票を受け取り、園長や担任職員、栄養士が面談し、子どもの生育歴や日常の様子、性格、好き嫌いなどを確認しています。保護者の要望を聞き、面談記録に記載しています。園長や担任職員、栄養士は、これらの記録類を分析し、子どもの現状と保護者の要望を踏まえた保育上のニーズを把握しています。こうしたアセスメント(情報の収集・分析)を通して抽出した課題を踏まえ個別指導計画の作成を行っています。</p>		

Ⅲ—2—(2)—② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。		
判断基準		評価
a	指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施していない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—2—(2)—② 評価のコメント		
<p>指導計画の作成の手順を定めています。保育課程に基づく年間指導計画、月間、週案は、担任職員が作成し、園長が確認を行っています。指導計画は、年、期、月、週の単位で評価・見直しを行い、次期の計画に反映させています。クラスミーティングや職員会議で確認し、共有しています。見直した課題は、子どもの個別状況とクラスの保育状況とに分け、計画に反映します。保護者には、連絡帳や送迎時、個別面談などを利用し、指導計画の内容を伝え、意向や同意を得ています。指導計画を緊急に変更する場合、園長と担任で相談し、実施します。</p>		
Ⅲ—2—(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ—2—(3)—① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。		
判断基準		評価
a	子ども一人ひとりの保育の実施状況が適切に記録され、職員間で共有化されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子ども一人ひとりの保育の実施状況が記録されているが、職員間での共有化が十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子ども一人ひとりの保育の実施状況が記録されていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—2—(3)—① 評価のコメント		
<p>保育の実施状況は、所定の「保育・個別日誌」に毎日記録しています。「発達経過記録」に、月単位で、食事・排泄・睡眠・着脱・清潔などについて、一人一人の記録を残しています。こうした記録から、指導計画に基づく保育の実施状況を読み取ることができます。書類の書き方や記録の取り方について、入職時の研修のほか、園長のチェックやクラスミーティングで話し合いを通して習得しています。職員会議やクラスミーティングによって、子どもや保護者への対応の仕方などの情報を共有しています。</p>		
Ⅲ—2—(3)—② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。		
判断基準		評価
a	子どもに関する記録の管理について規程が定められ、適切に管理が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どもに関する記録の管理について規程が定められ管理が行われているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子どもに関する記録の管理について規程が定められていない。	<input type="checkbox"/>
Ⅲ—2—(3)—② 評価のコメント		
<p>個人情報保護方針を策定し、法令・規範の遵守をはじめ、取得、利用、提供、管理、開示などのルールを定めています。「文書取扱規定」に基づき、文書・記録等の管理を行っています。ホームページには、個人情報の取り扱いについて、利用目的、提供、委託、情報の開示の方法などを説明しています。「入園のしおり」に、提出書類のほか、個人情報の利用目的及び範囲、利用機関、開示、停止などのルールを記載し、併せて撮影画像に関する協力を依頼しています。保護者に説明し、「個人情報使用承諾書」で同意を得ています。</p>		

〔内容（保育）評価基準結果〕

A-1 保育内容

A-1-1(1) 保育課程の編成

A-1-1(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。		
判断基準		評価
a	保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて編成している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて編成しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて編成していない。	<input type="checkbox"/>
A-1-1(1)-① 評価のコメント		
<p>「えがおの森保育園・かみいけだい 保育課程」は、保育理念、保育目標、社会的責任、人権尊重などの基本的な事柄を踏まえ、子どもの年齢をおおむね1～2歳未満、2～3歳未満、3歳に区分して、養護・教育・食育ごとにねらいと保育内容を明示し、編成しています。子どもの年齢と定員19人の小規模保育所という特性をもとに、「①安全・安心な保育、②豊かな感性を引き出す保育、③健康な心と身体を養う保育、④家庭との連携を密にした保育」の4つを保育理念に掲げています。毎年度末に職員会議で職員の意見を聞き、内容を確認していますが、開園して2年、保育の実践を積み重ねる中で、評価と改善へ向けた取り組みが課題となっています。</p>		

A-1-1(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

A-1-1(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。		
判断基準		評価
a	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備していない。	<input type="checkbox"/>
A-1-1(2)-① 評価のコメント		
<p>保育室は、全体が見渡せるワンフロアで、床材にクッションフロアを使用し、設置している棚や本棚などもベージュを基本色とした全体的に明るい雰囲気を出しています。道路に面していることから、窓は騒音や防犯対策のため2重窓、開閉は難しいと見られます。自然光の取り入れや換気、室温や湿度の管理に気を配り、常に快適な環境の保持に配慮しています。今回の利用者（保護者）調査では、園内の清潔、整理・整頓が行き届いていると評価を得ています。食事時と午睡時は、移動式パーテーションを使って空間を分けるなど工夫しています。子どものテーブルや椅子は角に丸みのあるものを使用し、トイレなどのドアは指はさみ防止だけがの予防措置を講じています。訪問調査の日、子どもを常に見守る職員の目が行き届いている様子が見受けられました。</p>		
A-1-1(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。		
判断基準		評価
a	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っていない。	<input type="checkbox"/>
A-1-1(2)-② 評価のコメント		
<p>朝の合同保育、散歩、食事の場面などを観察することができました。職員は、一人一人の子どもの発達段階や個性、健康状態、その日の機嫌などをよく把握して、言葉のかけ方や歩かせ方、食べる量や食べさせ方など適切な支援を行っていました。声のトーンや話し方が優しく、「お片付けしようね。どうぞ。ありがとう。」などと分かりやすく表情豊かに接していました。子どもについての職員間の引継ぎは、「申し送り表」や個々の子どもの連絡帳で行い、朝のミーティングはないながら、散歩の途中でも子どもの様子を職員同士で話したり、リーダーの指示を確認したりして互いに連携して保育につなげていることから、小集団のメリットがうかがえました。</p>		

A—1—(2)—③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。		
判断基準		評価
a	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っていない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(2)—③ 評価のコメント		
<p>衣服の着脱、手洗い、トイレトレーニング、食事介助など生活に必要な基本的な生活習慣を身につける最適な年齢で、家庭との連携の中できめの細かい指導や工夫、配慮が必要な時期と考えています。2歳児が午睡に入る時に、衣服の着脱や脱いだ服をたたむことを教えていました。袖を合わせたり、ズボンの左右を重ねたり、やって見せて自分でやらせることを根気よく取り組み、子どもは着実にできるようになっています。1歳児の手洗いの場面で、衣服をまくり上げてやる動作を「まくまく」と声かけしてました。動作を言葉で分かりやすく表現することによって、子どものやる気を引き出し習慣づける工夫を観察しました。職員は、毎日の子どもが育つ姿を観察しながら経過を記録し、個別月間指導計画の策定に生かしています。</p>		
A—1—(2)—④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。		
判断基準		評価
a	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育が展開されていない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(2)—④ 評価のコメント		
<p>朝夕の合同保育時間以外、1歳児と2歳児に保育室を分けて保育を行っています。2歳児は自分で気に入った絵本を取り出せるよう、また、1歳児は目の高さで絵本が見えるよう、それぞれ本棚を工夫しています。9月から、1歳児の玩具の置き場所や片付けがしやすくなるよう工夫し、自分で出し入れができるようになったことで、かみつきや取り合いが減りました。2歳児はコーナーを設け、12ピース程度のパズルなどを置き、気に入った場所で集中して遊べる空間を作りました。職員は、子どもの年齢に合わせて自発的、意欲的に遊べる環境設定を模索しながら工夫しています。天候が良い日は、洗足池公園やけやき公園に散歩を兼ねて遊びに行きます。散歩中の人や犬、鳥や樹木、ブランコや滑り台、砂遊びなど、様々な事物と触れ合いながら思い切り体を動かして遊ぶことができるよう配慮しています。</p>		
A—1—(2)—⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		
判断基準		評価
a	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/>
b	適切な環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(2)—⑤ 評価のコメント		
非該当		

A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		
判断基準		評価
a	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	適切な環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。	<input type="checkbox"/>
A-1-(2)-⑥ 評価のコメント		
<p>一人一人の子どもの発達状態や基本的な生活習慣の獲得状況を把握し、日常保育の実践を心がけています。子どもの自主性を引き出しやしたいことに取り組める環境整備に努めています。子ども同士の関わりの中でも、「貸して。どうぞ。じょうず～。おともだちいたいいたい。」など職員が適切な言葉かけをして関わりの仲立ちをしています。2歳児は、洗足地区保育連携推進事業の展開で、千束保育園との交流ができ、夏祭りに参加し、お店屋さんごっこのやり取りを楽しんだり、おみこしを担ぐ姿を見る体験をするなど、様々な子どもや大人と交わりました。こうした活動を通して、保育課程で目標としている環境整備の実現に取り組んでいます。</p>		
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		
判断基準		評価
a	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/>
b	適切な環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。	<input type="checkbox"/>
A-1-(2)-⑦ 評価のコメント		
非該当		
A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		
判断基準		評価
a	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input type="checkbox"/>
b	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	<input checked="" type="checkbox"/>
c	障害のある子どもが安心して生活できる環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。	<input type="checkbox"/>
A-1-(2)-⑧ 評価のコメント		
<p>これまで障害のある子どもの入園はありませんが、1歳半健診で発達の面で気になる子どもが在籍していることがあります。そうした場合は、保護者との連携を密にし、保育場面に応じて個別対応をしたり、相談機関を紹介することも行っています。年2回、太田区担当者の巡回指導があり、子どもの様子を確認しています。職員は、研修など学べる機会を作り、気づきを深めていきたいと考えています。本部や保育園の取り組みが期待されます。</p>		

A—1—(2)—⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		
判断基準		評価
a	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	長時間にわたる保育のための保育環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(2)—⑨ 評価のコメント		
<p>現在、定期的に長時間保育を利用している保護者はありません。その日の仕事の都合によるスポット利用が月に3～4回あります。訪問調査日のスポット利用(6時～6時半)の子どもは1歳児1人だけでした。職員は、子どもが寂しくならないようスキンシップを十分にとるとともに、健康状態を把握し、遊びやすくゆったりと過ごせる環境設定に気を配っています。保護者には子どもの様子を伝え、伝達漏れの無いよう注意しています。軽食やおやつなど補食は提供していませんが、今後、子どもや保護者の状況によって飲み物やおやつを提供することについて検討が期待されます。</p>		
A—1—(2)—⑩ 小学校(※連携保育所と読み替え。以下同じ)との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。		
判断基準		評価
a	小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	<input type="checkbox"/>
b	小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮しているが、十分ではない。	<input checked="" type="checkbox"/>
c	小学校との連携や就学を見通した計画、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮がしていない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(2)—⑩ 評価のコメント		
<p>大田区洗足地区内の認可・認証保育園13園の「洗足地区保育連携推進事業」に参加しています。大田区のバックアップのもと、地域の保育ニーズや近隣保育園の課題や工夫していることを話し合い、情報共有を図っています。連携保育所の千束保育園と定期的に交流を行っています。本年夏は、子どもが夏祭りに参加し一緒に楽しみました。また、職員同士は、交流保育を実施し、互いの保育内容について意見を交換したり、フィードバックを受けたりして、保育の内容や質の向上、モチベーションアップにつなげています。こうした連携が深まり、3歳以降のスムーズな保育園利用につながることを期待されます。(注 1, 2歳児を対象とする小規模保育所であることから、この評価項目を小学校ではなく連携保育所と読み替えて評価しました。)</p>		

A—1—(3) 健康管理

A—1—(3)—① 子どもの健康管理を適切に行っている。		評価
判断基準		
a	子どもの健康管理を適切に行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どもの健康管理を適切に行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子どもの健康管理を適切に行っていない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(3)—① 評価のコメント		
<p>子どもの毎日の健康状態は、登園時の検温から始まり、食欲・睡眠・便・鼻水の有無・爪・皮膚の状態など10項目を確認し、「毎日の健康観察項目」にきめ細かく記録しています。保護者とは、毎日の連絡ノートで子どもの状態を連絡し合い、体調や怪我の有無など状況に沿って日課を調整しています。保護者に対し、季節に応じて感染症対策や薄着の励行などを「ほけんだより」で注意を喚起しています。職員は、本部が作成した「感染症・衛生管理マニュアル」などに基づいて適切な対応ができるよう職員会議で話し合い、必要な知識や技術を学び、適切に対応できるよう努めています。乳幼児突然死症候群(SIDS)については、午睡時に5分間隔で子どもの向き・呼吸・顔色・唇色を確認し、「睡眠時呼吸チェック表」に記録し、事故予防に取り組んでいます。保護者にもそうした取り組みについて園だよりで伝えていきます。</p>		
A—1—(3)—② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		評価
判断基準		
a	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映していない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(3)—② 評価のコメント		
<p>保育園は、内科医と歯科医に委嘱し、「入園時のしおり」に明記しています。内科健診(5、10月)、歯科検診(6、12月)を定期的実施し、その結果を一人一人の「健康カード」に記録しています。毎月、体重、身長を測定し、その記録と予防接種記録を添えて保護者と経過を共有しています。予防注射未接種の場合などは、接種時期をアドバイスしています。年間を4期に分けた「年間保健計画」の中で年間目標を明示し、期ごとの行事や目標に合わせた活動内容と配慮事項、家庭との連携などを計画に織り込み、保育の実践につなげています。</p>		
A—1—(3)—③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。		評価
判断基準		
a	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、適切な対応を行っていない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(3)—③ 評価のコメント		
<p>厚生労働省発行(2011年3月)の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に従って、「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を作成し、適切に対応できるよう体制を整えています。現時点(訪問調査)で、食物アレルギーの子どもは在籍していませんが、卵や乳製品への配慮が必要な子どもが在籍していたこともあり、主治医の指示の下に除去食を基本対応として実施しました。誤食などが起らないようテーブルを分け、栄養士と職員が声を出し合って食材を確認し、提供することにしています。保護者には、入園時の個別面談で確認するとともに、「入園のしおり」や「重要事項説明書」に保育園の具体的な対応方法を明示しています。職員は、年度初めに運営会社の系列園合同でアナフィラキシー補助治療剤の講習や誤食時の具体的な対応を学ぶ機会を持っています。慢性疾患についても、入園時の面談の際、確認しています。</p>		

A—1—(4) 食事

A—1—(4)—① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		評価
判断基準		
a	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	食事を楽しむことができるよう工夫をしているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	食事を楽しむことができる工夫をしていない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(4)—① 評価のコメント		
<p>訪問調査の日、2歳児クラス4人の子どもと一緒に昼食をとりました。当日の献立の一つに小松菜の納豆和えがあり、職員は食べ始める前になっとうのねばねばを取り上げた絵本を読み聞かせ、関心を持たせていました。予め盛り付けされた食事を揃えてから食材を説明し、子どもは野菜や肉の種類を言えるように成長していて、鶏肉を柔らかくするため酢を使っていることまで言葉で表現していました。普段から栄養士も一緒になって子どもと会話をしながら食事を楽しんでいることがうかがえました。食器は白で統一し、持ちやすく献立の色彩が映える素材の製品で、フォークを使っていました。一人一人の子どものペースや食べる量を勘案しながらお代わりをしたり、時間の目安も時計にマークをつけて意識させるなどきめ細かく指導をしていました。発達の目安も考慮しながら、箸への移行も検討していました。</p>		
A—1—(4)—② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。		評価
判断基準		
a	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供しているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供していない。	<input type="checkbox"/>
A—1—(4)—② 評価のコメント		
<p>1人の栄養士が、献立づくりから毎日の調理まで一貫してたずさわり、責任をもって毎日の食事とおやつを提供しています。週1回休みの日は給食会社の職員が入りますが、申し送りをメモするなど支障が生じないように配慮しています。子どもの食事の様子を把握する、好みや味付け、刻み方などの工夫をする、子どもの日やクリスマスなどの行事食を企画する、食育、食材購入、衛生管理、月1回の給食会議を開催するほか、毎月の園だより「きゅうしょくしつより」の記事で保護者へ情報を提供するなど、実に多岐にわたる役割を担い、業務をこなしています。子どもが食べている様子を見て回り、子どもとの関わりを密に持ちながら積み重ねている努力が、今回の利用者調査で回答者全員が満足しているという結果につながっています。子どもが美味しく完食する姿は印象的でした。</p>		

A-2 子育て支援

A-2-1 家庭との緊密な連携

A-2-1-1-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。		評価
判断基準		
a	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っていない。	<input type="checkbox"/>
A-2-1-1-① 評価のコメント		
<p>子どもの日々の様子は、連絡ノートにより保護者と伝え合っています。健康状態や食事の様子、どのような過ごし方をしていたかを記述しています。登降園時に、口頭でも保護者とコミュニケーションをとる姿が観察できました。保護者から休日に通院したことやトイレトレーニングの効果的な方法について質問する姿が見られ、職員が適切に回答しています。年2回(5、12月)、2週間の期間と時間を設定し、保護者の都合に合わせて個人面談を行っています。担当職員から保育園での様子を伝える一方、保護者から家庭での様子や気になることや相談したいことなどを伝えています。「保護者面談記録表」に、保護者の表情など観察したことも記録しています。</p>		

A-2-2 保護者等の支援

A-2-2-1-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。		評価
判断基準		
a	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
b	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っているが、十分ではない。	<input checked="" type="checkbox"/>
c	保護者が安心して子育てができるようにするための支援を行っていない。	<input type="checkbox"/>
A-2-2-1-① 評価のコメント		
<p>保護者の殆どが第一子を初めて子育てする中で、保育園の利用について仕事との両立や保育時間の設定などに悩んでいると考え、相談しやすく些細なことでも話しやすい雰囲気づくりを心がけ、保護者が悩みのスパイラルに陥らないよう様子を見て声かけをしています。利用者調査の結果でも、保護者は信頼感を持ると評価しています。一方、職員が困った時のスーパーバイズ(受容、助言、指導)に関し、本年度リーダーを配置しましたが、園長の不在が続くなど不安定な状態が見られます。職員の不安を解消し、組織として安定的な運営を図ることが実現すれば、保護者への支援もさらに充実すると考えられます。</p>		
A-2-2-1-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		評価
判断基準		
a	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めていない。	<input type="checkbox"/>
A-2-2-1-② 評価のコメント		
<p>登園時、職員は子どもの視診を行い、保護者の顔色や表情を観察し、会話や言葉遣いなどに気がかりなことはないかなどを意識しながら対応しています。これまで心配するようなケースは無く、具体的に対処したことはありません。「虐待防止マニュアル」で職員の役割の理解や具体的な対応について学ぶ機会を設け、また、疑いがある時や具体的に発生・発見した時に備え、「虐待ケース表」の書式制定、本部との連携の仕方、所轄の児童相談所への連絡など具体的な対応の仕組みを整えています。</p>		

A-3 保育の質の向上

A-3-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

A-3-1-1-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。

判断基準		評価
a	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
b	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めているが、十分ではない。	<input type="checkbox"/>
c	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)に取り組んでいない。	<input type="checkbox"/>

A-3-1-1-① 評価のコメント

職員は、子どもの発達過程を見極め、さらなる成長に向けた効果的な保育内容を検討し、計画し、実践しています。毎月の職員会議で、個々の子どもの様子や集団との関わり方、職員としての関わり方など共通の取り組みを具体的に行えるよう話し合い検討しています。日・週・月・年間の各指導計画や行事計画は、それぞれの実践の評価・反省を踏まえ、次のステップの具体案を取り入れています。例えば、玩具を取りやすくしたり、コーナー遊びへの移行、食育などの具体的な取り組みは、保育の内容や質を改善し専門性の向上につながっています。現状は、まだ十分とは見られず、課題があると考えています。こうした取り組みを積み重ね、保育課程の改善や新しい取り組みに進んでいくことが期待されます。

〔全体の評価講評〕

特に良いと思われる点
<p>低年齢・小規模保育所の特徴を生じた保育を実践しています</p> <p>職員は、一人一人の子どもの発達や個性、状況をきめ細かく把握し、保育場面に応じた適切な言葉かけをしながら保育を実践しています。訪問調査の日、朝の合同保育、散歩、食事の場면을観察しました。「どうぞ、ありがとうございます、かわいい～、ここに入れようね、おともだちいたいたい、」など、職員は声のトーンを抑え、優しい言い方で接しています。年齢や必要に応じたスキンシップ、受容的な保育を実践しています。職員集団としての連携を深め、リーダーを中心にした体制の中で、1、2歳の低年齢児を対象とする小規模保育所の特徴を生じた保育を実践しています。</p>
<p>さまざまな配慮と工夫をこらし、美味しい食事を提供しています</p> <p>専任の1人の栄養士が、昼食やおやつ献立表の作成から、食材の手配、調理、衛生管理、食育、給食会議の開催、保護者に向けた情報提供など多様な職務を職員との連携のもとで行っています。子どもの日やクリスマスなどの行事食、好き嫌いをなくすための食材の組み合わせ、味付け、肉を食べやすく柔らかく、食べやすい大きさにするなどきめ細かい配慮と工夫をこらしています。子どもたちも職員の指導で食事を楽しく、美味しく、落ち着いて、学びながら食べている姿を観察しました。今回の利用者調査では、回答した保護者から高い評価を受けていました。</p>
さらなる改善が望まれる点
<p>3歳以降の保育園利用について、保護者支援の仕組みづくりの検討が期待されます</p> <p>1、2歳児を対象とする小規模保育所です。利用者は、3歳以降も保育園を利用することが予測されています。「大田区小規模保育所事業実施要綱」には、3歳以降の利用調整での優先的な取り扱いや保育園に対する後方支援を明示しています。保育園は「大田区洗足地区保育連携推進事業」へ参加し、近隣保育園との連携事業を通して保育の内容や質の向上、職員のモチベーションアップにつながっています。一方、保育園の保護者支援として、保育の継続性についての相談体制や保育園との連携、子どもに関する記録の作成など情報提供の仕組みづくりなど、大田区の協力のもとさらなる取り組みの検討が期待されます。</p>
<p>スーパーバイス体制の確立、職員の定着、本部との連携の強化などが期待されます</p> <p>職員は、日・週・月・年間、行事、食育など保育課程に沿った計画の評価・見直し(自己評価)を行い、日々の保育実践に生かしています。毎月の職員会議で具体的な保育場面について意見交換を行い、改善を検討し、周知して実践に努めています。例えば、コーナー遊びの取り入れや玩具の置き方の工夫、食育など保育の質の向上に生かしています。こうした実践の積み重ねによる専門性のさらなる向上など、今後に期待したい取り組みです。そうした取り組みと併せて、スーパーバイス体制の確立や職員の定着、本部との連携の強化など、小規模保育所の特徴を生かし発揮する取り組みが期待されます。</p>